

日本 日本を旅して気付くこと(1)

須賀 努

コラムニスト・アジアウオッチャー

これまで2年以上に渡り、アジアをほっつき歩いてきたが、アジアの人々の日本への関心、とりわけ訪日観光への関心の高まりを感じる事が実に多くなっている。ところが筆者は日本を旅したことがあまりなく、その情報も新しいとは言えない。今回は「半外国人目線」の筆者が日本（北海道、沖縄、北陸など）を旅して気が付いたことを記してみた。日本には豊かな自然や繊細で美味しい食事などよい所が沢山あるが、今回は敢えて不便な所を書いている。インバウンドのヒントになれば幸いである。



写真1 函館朝市で夕張メロンを買う台湾人観光客

道路標示が少ない、分かり難い

上海の旅行者に日本の不便な点を聞いてみた所、『道路標示が少ないし、分かり難い』という回答があった。確かに上海では道路には全て表示があり、しかも「東西南北」が書かれ、その上「何番から何番が東」などときちんと表示されているので、外国人でも迷わず行けることが多い。だが東京では道が入り組んでいる割に、見やすい表示は多くない。外国人が目的地を探し当てるのに時間が掛かる場合も多く、時々道を聞かれることがあった。

特に地下鉄の駅を上がって地上へ出た時が難し

い。方向が全く分からないこともある。そもそも東京の地下鉄はあまりにも複雑で、日本人でもどこで降りるべきかなど、慣れていなければ事前の調査が必要になる。これは東京だけではなく、大阪でも同じだった。

また切符の買い方も難しい。香港などでは機械の画面に行き先が表示されるので、自分の行先（英語表記）が分かれば、自動的に料金が表示され、コインを入れれば切符が買える。しかし日本では先ず駅が多過ぎることもあり、自分の行先の料金を確認するのに一苦労する。長野県の某駅では自動切符販売機の前に職員が立ち、一人ずつから行先を聞き、代わりに買って上げていた。Suica という文明の利器もここまでは及んでいないようで、不便この上ない。

ところがこういう話を日本人にすると『今はスマホの時代でしょう。経路は携帯で見ながら来ればすぐに分かるよ』『電車の料金も検索で一発』と言われてしまう。だが、外国人が日本に来た場合、誰もが簡単にスマホを使えるわけではない。

無料のWIFIが繋がる場所が少ない

日本に到着すると先ず向き合うのが空港。少なくともアジアから来る旅行者は『日本は超先進国、科学技術の発達した国』というイメージでやって来るが、先ずその空港でイメージをぶち破られる人もいる。WIFIが繋がらないのだ。香港やシンガポールの空港には無料WIFIが設置されている。バンコックや北京でもパスワードを取得すれば繋ぐことができる。日本の空港にはこのようなサービスはあるの



【須賀努氏のプロフィール】

東京外語大中国語科卒。
金融機関で上海留学、台湾2年、香港通算9年、北京同5年の駐在を経験。
現在は中国を中心に東南アジアを広くカバーし、コラムの執筆活動に取り組む。

撮影：佐渡多真子

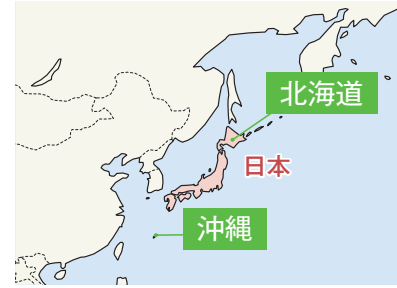


写真2 成田空港の観光客向け WIFI カウンター

だろうか。

成田空港出口の先には、ズラッとレンタル携帯の店が並んでいる。その数10軒以上。普通アジアで使う携帯はSIMカードを差し込むタイプが殆どであり、空港でその国のSIMカードを購入して自分の携帯に差し込めば、直ぐに使えるが日本にはこれがない。何と携帯電話機ごと借りなければならない。そしてその料金は使っても使わなくても一日数百円。もしポケット WIFI を借りれば一日1000円以上。バンコックの空港で買う携帯用SIMカードは日本円300円ぐらいで短期旅行なら十分に使える。この差は大きい。

また1分間電話を掛けると105円など、利用プランの複雑なことも指摘したい。しかも各社のサービスが微妙に違っており、日本人が日本語で聞いても難しい内容を英語で説明されて理解できるだろうか。尚一番驚いたのは料金精算。クレジットカードが無いと借りられない上、その精算は帰国時の携帯を返す時ではなく、その2-3週間後にメールで知らせると言われた。万が一請求に間違いがあってもその場で指摘できず、料金だけがカードから引き落とされてしまう。筆者が使ったお店がたまたま悪かったのだろうか。

東京などの都市に行っても、ホテル以外で WIFI

が無料で使える所は極めて少ない。喫茶店やレストランで『WIFI 使えます』と書いてあっても、その上にイヌのマークがあったりする。日本ではどこかの通信会社と契約していないと使えないことが殆ど。ある中国人から『日本の通信会社は皆国有企業なのか』と聞かれ、ついつい頷いてしまった。日本人は『アジア的に見ればではバカ高い通信料金を当たり前だと思って払っている』訳だ。因みに出張で来た中国人はチャーターしたハイヤーの運転手さんのポケット WIFI を借用して、一日中中国と連絡を取り合っていた。尚大手コーヒーチェーンでは WIFI が無料である聞き出向いてみたが、何と事前登録が必要であり、その場では繋ぐことが出来なかった。

お金はどうする

バンコックなど東南アジアでは街中に沢山両替所が設置されている国がいくつもあるが、日本では街中で両替できる場所はあまりにも少ない。空港の両替レート、特にアジア通貨は著しく実勢とかけ離れており、両替する気にならない。勿論普通の店が外貨を受け取ることは無く、外国人は日本円確保に神経を使う。中国人向けには家電量販店、ドラッグストアなどで銀聯カードの扱いが一般化しつつあるが、現在注目されているタイ、インドネシアなどの観光客にはどう対応するのだろうか。クレジットカード払いで優遇するのだろうか。香港人の日本リピーターは『日本円の両替は全て香港で済ませ、現金を持って行く』と。日本の街中ではクレジットカードが使えない場所が多いことを彼女は嘆いていた。